

平成25年 9月27日
東北地方整備局

入札監視委員会第二部会第2回定例会議（9月13日） の審議概要について

～抽出案件6件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成25年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第2回定例会議が、
9月13日（金）、東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）
についてお知らせします。

議事では、委員により抽出された案件6件の審議が行われ、委員からの意見の
具申・勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局

仙台市青葉区花京院一丁目1番20号

TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）

契 約 管 理 官

さとう ゆたか
佐 藤 豊（内線6221）

経 理 調 達 課 課 長 補 佐

さとう ひろまさ
佐 藤 浩 正（内線6554）

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会）第2回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成25年 9月13日（金） 東北地方整備局会議室		
委員	部会長 貝山 道博（埼玉大学 名誉教授） 部会長代理 齊藤 幸治（弁護士） 委員 高橋 敏彦（東北工業大学 工学部教授）		
審議対象期間	平成25年 4月 1日～平成25年 6月30日		
総審議案件	6件	〈備考〉 (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止措置の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行った。	
工 事	一般競争（WTO対象）		1件
	一般競争（WTO対象外）		2件
	工事希望型競争		0件
	工事希望型以外の		
	指名競争入札		0件
	随意契約		0件
建設コンサルタント業務等	2件		
役務の提供等及び 物品の製造等	1件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項はありません。		

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会）第2回定例会議審議概要

審 議 案 件 工 事 概 要 書

	入札・契約方式	工 事 名	工事種別	契約金額 (単位：千円)	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数
1	一般競争 (WTO対象)	八戸港外港地区防波堤(中央)外築造工事	港湾土木工事	607,425	8者	8者
2	一般競争 (WTO対象外)	久慈港湾口地区防波堤本体工事（その2）	港湾土木工事	467,250	1者	1者
3	一般競争 (WTO対象外)	仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区防波堤(南)消波 外工事	港湾土木工事	174,825	2者	2者

審 議 案 件 建 設 コ ン サ ル タ ン ト 業 務 等 概 要 書

	入札・契約方式	業 務 名	業務区分	契約金額 (単位：千円)	手続きへの参加資格 及び業務実施上の 条件を満たす参加 表明書の提出者数	入札参加者数
4	簡易公募型競争	むつ小川原港国有港湾施設老朽化点検調査	建設コンサルタント等	21,315	2者	2者
5	簡易公募型競争	能代港外港地区防波堤（第二北）堤頭函細部設 計	建設コンサルタント等	13,230	13者	13者

審 議 案 件 役 務 の 提 供 等 及 び 物 品 の 製 造 等 概 要 書

	入札・契約方式	業 務 名	業務分類	契約金額 (単位：千円)	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数
6	一般競争	G P S 波浪計定期点検・修理業務	役務の提供等	40,530	1者	1者

	意見・質問	回 答
1-1	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・ 特になし	
1-2	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・ 過失により低入札調査に協力できないとあるが、協力できない理由を明らかにしないのはなぜか。 ・ 指名停止が2ヶ月という期間はどうか。	低入札価格調査は基本的に低価格でも業務が行えることを明確にするための調査です。明らかに間違った入札価格だったので、調査に協力できないということです。 基準により設定したもので、この期間は指名停止委員会の審議を踏まえ決定したものです。
1-3	定例報告 「談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案」 ・ 特になし	
1-4	定例報告 「工事種別ごとの再度入札における一位不動状況」 ・ 特になし	
1-5	定例報告 「工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況」 ・ 特になし	
2-1	審議 「八戸港外港地区防波堤（中央）外築造工事」 ・ 入札参加者が8者と多い理由は何か。 ・ 難しい工事ではないのか。 ・ 無効となった参加者がいるが、無効となった理由は何か。 ・ 5億7400万円から5億7850万円までと入札価格が固定化している理由は何か。 ・ 無効となった参加者は技術点に自信がないからギリギリの入札価格を入れてきたのか。	今年度最初のWTO案件の工事ということで、港湾工事が得意なマリコンが多数入ってきたのではないかと思います。 継続的に発注しているものであり、特に難しいものではありません。 入札価格が調査基準価格を下回ったため、施工体制の確認のための追加資料の提出を求めましたが、相手方が提出を辞退したため無効となったものです。 見積参考資料の公表を行っている試行工事であることから、精度の高い積算が可能であり、受注意欲が高い者が調査基準価格に近い金額で応札してきたものと思われます。 技術点は落札決定まではわからないようになっていきます。今回は受注意欲が高いこともあり、低い価格で入れてきたのではないかと思います。

	意見・質問	回 答
2-2	<p>審議 「久慈港湾口地区防波堤本体工事(その2)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術資料提出可能者が多数いる中で、参加者が1者だけというのはどういうことか。 ・この参加者が参加した理由は何か。 ・前案件（八戸港外港地区防波堤（中央）外築造工事）の工事で落札できなかった業者が参加してくるということはなかったのか。 	<p>他機関においても復興工事が行われているため、資材・人員の調達に厳しい状況です。なお、入札資料をダウンロードした12者のうちの数者にヒアリングしたところ、「技術者の確保がむずかしい」、「フローティングドック（以下「FD」）の準備が出来ない」等の話がありました。</p> <p>この参加者は自前でFDを持っているので参加しやすかったのではないかと推測しております。</p> <p>本件とは発注時期や発注額が異なることから一概にはいえないと思います。 FDの調達も影響してくると思われそうですが、同時期に（その1）工事の公告があったので、業者はそちらに応募した可能性はあるものと考えられます。</p>
2-3	<p>審議 「仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区防波堤（南）消波外工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が高い理由は何か。 ・4ヶ月の工期は、これくらいの規模では普通なのか。 ・2者しか参加しない理由は何か。 	<p>単純な工種であり、比較的精度の高い積算が可能であったことから高くなったのではないかと推測しています。</p> <p>この数量では平均的な工期です。</p> <p>被災地全体が、資材・人が足りない中、多くの工事が行われている石巻での工事であり、業者にとって魅力ある内容の工事ではなかった可能性はあろうかと思われれます。</p>
2-4	<p>審議 「むつ小川原港国有港湾施設老朽化点検調査」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加可能業者のうち参加したのが2者である理由は何か。 ・同種業務に該当する業者と類似業務に該当する業者はそれぞれ37者となっているが、重複しているのか。 ・落札率が100%の理由は何か。また、2回目の入札額は1回目の入札額から、一気に800万円程度下がっており、それが予定価格と同額というのは偶然すぎるのではないか。 ・説明の際の情報の開示はどうか、限りなく随意契約に近いやり方で情報の開示を行ったのではないか。 ・無効となった参加者はよく入札参加する業者なのか。 	<p>入札資料をダウンロードした者は22者であり、その中の数社にヒアリングを行ったところ、「東北地整管内で同様の調査の発注が同時期に行われており、参加先を絞った」、「むつ小川原での実績がなく、むつ小川原で業務の履行体制がとれない」という理由でした。</p> <p>19者重複しております。</p> <p>1回目の入札価格と予定価格との差が大きかったことから、2回目の入札に移行する前に、参加者から入札価格算出の考え方を聞いた上で、この調査は「特殊な資機材を使うこと」及び「旅費の積算や測定の想定日数の考え方」等、当局の積算の考え方を説明しており、その結果精度の高い積算になったものと思われれます。 なお、落札決定後、業者に聞き取りを行ったところ、当局は積算額の1万未満の端数を切り下げているのに対し、業者は10万円未満の端数を切り下げられており、結果的に同じ金額となっております。</p> <p>決められたやり方で説明を行っております。今後も誤解を招かないよう適切なやり方で行って参りたいと思います。</p> <p>今回、当局発注の同種調査の入札に全て参加しています。</p>

	意見・質問	回 答
2-4	<p>・今後、再度入札前に積算の考え方について説明を行った案件が、審議される場合は、どのような情報のやりとりをしたのか確認させていただきたい。</p>	<p>はい、わかりました。今後は、資料により説明させていただきます。</p>
2-5	<p>審議 「能代港外港地区防波堤（第二北）堤頭函細部設計」</p> <p>・入札参加者が多い理由は何か。</p> <p>・落札率が低い理由は何か。</p> <p>・同種業務に該当する業者15者と類似業務に該当する業者12者は重複しているのか。</p>	<p>年度当初に公表する発注予定情報においては、設計業務が本件も含め2件しかありませんでしたので、設計の業者が集中したのではないかと考えられます。</p> <p>見積参考資料を公表する試行業務であり、当局と同じような形で積算ができるようになってます。また過去の入札結果等も確認できるようになっていることから、受注意欲と企業努力の結果と考えられます。</p> <p>本件に関しては重複しておりません。</p>
2-6	<p>審議 「GPS波浪計定期点検・修理業務」</p> <p>・機械は日立造船製なのか。</p> <p>・入札参加者が1者の理由は何か。</p> <p>・落札率が高い理由は何か。</p> <p>・日立造船は昨年も落札しているのか。</p> <p>・保守点検はどれくらいの頻度で行っているのか。</p> <p>・耐用年数はどれくらいか。</p>	<p>主要な部分は日立造船が製作したものです。</p> <p>既設の機械設備の保守点検・修理であり、新設ではないことから、他の業者は参加しにくい業務であると考えた可能性はあろうかと思われます。</p> <p>1回目の入札価格と予定価格との差が大きかったことから、2回目の入札に移行する前に、参加者から入札価格算出の考え方を聞いた上で、当局の積算の基本的な考え方を説明して、2回目の入札を行った後、不落随契に移行しました。その結果、積算精度が高くなり落札率が高くなったものと考えられます。</p> <p>昨年度も落札しております。</p> <p>毎年1回の頻度で行っています。</p> <p>沖合のGPSは、係留器具も含めて10年です。</p>